

令和5年度

学 力 向 上 プ ラ ン
【後期】

上尾市立大石中学校

上尾市立大石中学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 自ら学ぶ生徒
- 進んで身心を鍛える生徒

学校課題研究主題

「生徒一人一人のよい点や可能性を生かし、異なる考え方を組み合わせたよりよい学びを実現する授業改善」
ーICTを活用した表現する機会を通してー

学力・学習状況調査の結果

R5 全国学力・学習状況調査	R5 埼玉県学力・学習状況調査	R4 上尾市立小・中学校学力調査
令和5年度調査（4月実施）の結果を記載する。 <ul style="list-style-type: none">・国語、数学、英語ともに平均正答率は殆どの区分で全国平均を越えている。・国語では、文章構成や展開の根拠を考える問題が正答率が低い傾向がある。・数学では、式の変形や、意味を読み解く問題が特に低い傾向にある。・英語では、リスニングに関する正答率は高いが、情報を読み取る問題の正答率が低い傾向にある。	令和5年度調査（5月実施）の結果を記載する。 <ul style="list-style-type: none">・学力レベルの平均は、3教科全てで2レベル伸びている。・3教科とも、学力を伸ばした生徒の割合は埼玉県平均を上回っている。特に、3年生の国語では学力の伸び率が埼玉県の2倍（1.8）となっている。・非認知能力の向社会性の項目の数値が埼玉県と比較して低い、他の項目は埼玉県よりも高くなっている。	令和4年度調査（令和5年1月実施）の結果を記載する。 <ul style="list-style-type: none">・国語ではほとんどの領域について、平均を上回っている。特に書くことについて伸びが見られる。・数学では1年生は主体的に学習に取り組む態度において全国平均を上回っている。2年生はすべての領域において全国平均を上回っている。・英語では、全ての領域について平均を上回っている。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①知識を確実に習得し、既習事項と関連付けながら活用できる力。 ②基礎的・基本的な語彙力。	③未知の問題に対し、その解決のための方法を考える力。 ④自らの考えを、理由や根拠をもとに表現する力。	⑤主体的に学習に取り組み、自身の課題解決に向けて粘り強く取り組む力。 ⑥自らの学習を見通しを立てたり、振り返ったりする力。

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
○学習意欲を高め、基礎的・基本的な知識を確実に定着させる。 ○既有知識を活用して考えさせ、知識を相互に関連付けて深く理解させたり、知識を他の学習や生活の場面で活用させたりする。	○問題に対して、その解決方法の計画や検証をして、振り返らせる。 ○目的や場面、状況等に応じて、互いの考えを理由や根拠をもとに適切に伝え合ったり、多様な考えを理解し合ったりして、集団としての考えを形成させる。	○ガイダンスやカウンセリングを充実させ、一人一人の課題やニーズに応じた学習を行う。 ○課題の明確化や振り返りの時間の確保を行うことで、本時の学習の整理を行う。

本校の特色ある取組

- ICT機器を活用した学習指導の推進
- 授業六束による学習規律の徹底
- 小中連携事業による中学校区内の小中学校との情報交換と共通事項の設定
- 学校課題研究を通じた授業改善

家庭教育との連携

- シラバスを始めとした情報公開
- 学校応援団の協力
- 学校地域ボランティアの推進
- アンケートの実施

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①知識を確実に習得し、既習事項と関連付けながら活用できる力。 ②基礎的・基本的な語彙力。	③未知の問題に対し、その解決のための方法を考える力。 ④自らの考えを、理由や根拠をもとに表現する力。	⑤主体的に学習に取り組み、自身の課題解決に向けて粘り強く取り組む力。 ⑥自らの学習を見通しを立てたり、振り返ったりする力。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	②、④	②新出漢字や語句を正しく書き、その意味や用法を調べて理解する取組。 ④スピーチや作文を定期的に行い、自分の考えを表現する取組。	B
社会	③、⑥	③歴史など過去の事象を振り返りながら、現代社会の諸課題を捉える取組。 ⑥単元のめあての提示と、単元のまとめによる振り返る取組。	B
数学	①、④	①演習や小テストの実施により、基礎的な技能の定着する取組。 ④証明や説明の問題から、根拠をもとに筋道を立てて説明する取組。	A
理科	①、④	①実験や技能テストを通して実験技能を習得するとともに、既習事項の振り返りを行い、より多くの知識を習得する取組。 ④レポート作成やポートフォリオ作成により、学習内容をまとめ、結果や既習事項から自らの考えを表現する取組。	A
外国語	②、⑤	②新出単語・基本的な文法事項を身に付けさせ、表現できる取組。 ⑤自己を振り返り、苦手分野を克服するために、4技能をバランスよく養う取組。	B
音楽	①	①楽器演奏や歌唱の時間を毎時間取り入れることで、技能の習得を図る取組。	B
美術	④	④鑑賞の授業やアイデアスケッチ、ポートフォリオの作成を通して、自分の考えを広げ、表現する取組。	B
技術	①	①実習や制作をする場面を多く設定し、習得した知識・技能を活用・実践する場面を意図的につくる取組。	B
家庭	③	③実習や制作をする場面を多く設定し、習得した知識・技能を活用して、話し合い活動を通じて課題解決する取組。	B
保健体育	②	②運動量を確保し、基本的な技能や動きを身に付けさせる取組。	B

特別の教科 道徳	④	④「〇〇という理由で、～だと思えます。」という発表の仕方を定着させ、自分の気持ちを明確し、表現できる力を育てる取組。	B
----------	---	--	---

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組

- | | |
|----------------------|---|
| ○自主学習ノート、
補充学習の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト前、長期休業中の補充学習の実施。 ・自主学習ノートによる家庭学習習慣の確立。 |
| ○授業六束による
学習規律の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活規律を高める呼びかけの実施。
(朝のあいさつ運動、「授業六束」の掲示) |
| ○学区内小学校と
の小中連携事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導や生徒指導などの情報交換と小中連携での取組に関する共通理解を図る。 |
| ○学校課題研究を
通じた授業改善 | <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領、学校課題研究テーマを踏まえた授業改善と校内授業研究。 |

家庭教育との連携

- | | |
|----------------------|--|
| ○シラバスを始め
とした情報公開 | <ul style="list-style-type: none"> ・各教科のシラバス（指導の方針、評価、年間指導計画）の学校ホームページへの掲載。 |
| ○学校応援団等の協
力 | <ul style="list-style-type: none"> ・三者面談、保護者会、公開授業の実施。 ・個票でのテスト結果の返却。 ・「学校だより」「学年だより」「進路だより」等の発行。 |
| ○「学校地域ボラン
ティア」の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の「朝のあいさつ運動」の実施。 ・地域のパトロール活動の実施。 |
| ○アンケートの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境浄化、地区内のボランティア活動への参加。 ・文化部等の地域活動への出演等。 |
| ○アンケートの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートや生活アンケートを通じた生徒の実態把握と授業等の改善 |